

# お話のプレゼント

## 第12回

### シーズー犬 「悟飯」2

さむい。くらい。

ボクの大好きなドックランが移動した。同じ敷地の角から角に移っただけなのに、春の太陽から冬の太陽になった。

あれからルーフ、ビー、さくら、チャンプやスカイと逢っていない。どうしたんだらう。

大好きな陽がまりがなくなつた。ボクの大好きな子ども達も遊んでいるのか見えなくなつた。遠くに声は聞こえる。たまにすれ違つても声をかけてくれない。帰るのにいそがしいんだ。もう少しあたたかくなつたら、霜もなくなつたら仲良しがふえるかな？そして、これもれ日の中でみんなで走ろう！

このドックラングに行く。

大きなカートに乗ってエスカレーターに乗る。とつても気持ちがいい。もちろん二本足で立つてみんなにあいさつ。



こ見てるから「ソックリしてね。ボクはつかまり立ちして、いねむりもできるんだよ。引っ越し用のダンボールが、お母さんがつくつたボクのハウス。それに

つかまつてウツラ、ウツラ。いい気持ちだよ。

「あつ失敗！」お母さんの声。シャッターチャンスがうまくいかなかつたらしい。穴を指でふさいでるんだもの、写るわけないよ。いねむりの写真なんかはずかしくて、ボクだつてとられたくないよ。

この前のボクの挿絵。ソックリだつたよ。親せきの佑衣ちゃん「悟飯だ！」と見つけたくらい。

ありがとう草野さん（ボクの名前に似てるね）。逢つたこともないのに上手に書いてくれて。お母さんも「読んだよ」とあつちこつちから電話がかかってくる30分も話してた。とつても喜んでたよ。またいつかお話きてね。

グッバイ。

作：平野 洋子（箱根ヶ崎在住）

絵：草野美奈子（箱根ヶ崎在住）

### 創作童話募集

◆ 瑞穂に在住、在勤、在学の方ならどなたでも結構です。（ペンネーム可）

◆ 字数は500字以内です。

◆ 紙面の都合上、編集委員で加筆・修正することもあります。

◆ ご興味のある方は議会事務局までご連絡ください。

### 編集後記

「不況」は不安を掻き立て、時に人の心を惑わすものです。しかし、わが国の歴史は必ず復興することを示唆しています。今は精神と英知を養う、辛抱の時なのでしょう。

今回の議会だよりはいかがでしょうか。2年前に構成された編集委員の最後の作品です。思えば、読者の皆様からお寄せいただいた声、私たちの精神と英知の源でした。心から感謝申し上げます。

（森 巨）